

消防団の充実強化に向けた地域における新たな取組

地域防災室

消防団は、地域の安心・安全のため、大きな役割を果たしていますが、近年の社会環境の変化等から、消防団員数の減少や消防団員の高齢化・サラリーマン化等の様々な課題に直面しています。

全国の各地域においては、消防団への加入促進を始めとして、消防団の充実強化に向けた様々な取組が行われております。以下では、主な取組について紹介します。

1 「あいち消防団の日」を制定

・愛知県では、消防団に対する理解促進と団員の確保を図るため、毎年1月20日を「あいち消防団の日」として制定。

・PR活動の一環として、愛知消防団公式応援ソング「消防団HERO」を歌う地元アイドルグループ“OS☆U”（オーエスユー）を「あいち消防団大使」に任命。

・「あいち消防団の日」には、JR名古屋駅での大村愛知県知事によるPR活動や「あいち消防団PR大使」による消防団PRステージをはじめ、県内全市町村で消防団のPR活動を実施。



2 大学生を機能別団員「防災サポーター」に任命

・熊本市消防団では本年4月、市内の大学に通う大学生140人を「防災サポーター」として、消防団員に任命。
・大規模災害時に、避



難所の管理補助や、備蓄・救援物資の管理、外国人の通訳、高齢者等への介護補助などに携わる。

・広報活動として、募集ポスターやリーフレットの作成、熊本市内の大学への募集ポスター掲示などを行う。

3 県庁職員による県庁部の発足

・佐賀県は、人口千人当たりの消防団員数が22.8人（平成25年4月1日現在）と全国1位の組織率を誇っているが、全国的な傾向と同様に消防団員数は減少を続けており、地域防災力の低下に対する懸念が高まっている。



・このような現状から、消防団員の確保及び消防団活動の充実を図るための方策を検討するため、県・市町・消防協会で構成する「佐賀県消防団員確保対策検討会」を平成25年2月に立ち上げ、消防団員確保対策を検討してきた。

・検討会での議論を踏まえ、県庁には多くの現役・OBの消防団員が在籍し、平日昼間は佐賀市で勤務を行っていることから、佐賀市消防防災課と協議し、平成26年4月に佐賀市消防団県庁部を発足した。

4 ふじのくに消防団応援連盟事業

・伊豆地域の民間7団体により、地域防災の要として活動する消防団を支援する「ふじのくに消防団応援連盟」が発足。



・平成26年4月1日から、同連盟に所属する観光施設など10施設の入場料を、消防団員としての身分証明書などを提示することにより、静岡県内の消防団員と、同居の家族に限って半額にする取組を始めた。

問い合わせ先

消防庁 地域防災室 消防団係 山下
TEL: 03-5253-7561